はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No.42
2016年（平成28年）
2月4日

CONTENTS

■議員と語る会……Ｐ２
■12月定例会……Ｐ４
■一般質問（10人）……Ｐ７

全中入賞し地元国体へ

― 滝沢日菜（安代中学校３年） ―

議員が３班に分かれて参加者と意見交換しました（田頭コミュニティセンター、１班・11月20日）

議員と語る会
子育てをテーマに市民と議論深める

八幡平市議会は昨年11月20・21日の両日、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。市内５会場で開かれた議員と語る会には市民など39人が参加。議員自らが平成27年第３回定例会などの議会報告をしたほか、「八幡平市の子育てについて」をテーマに設定して意見交換を行いました（掲載は主なもの）。

１班

●11月20日●

田頭コミュニティセンター

■参加者　９人

▼中学校卒業まで給食費などの学校に関わる費用を無料にしてはどうか。

▼中学生まで予防接種や医療費を無料にしてはどうか。

▼小中学校の行事に議員も出席して現場を見てほしい。

▼子育て世代の声を聴く集会を定期的に設けてほしい。

▼ＰＴＡで学校の備品購入や小修理を市に要望しても進まないので、ＰＴＡがお金を出して対応したこともある。

▼小中学校適正配置計画が地元の話し合いが熟していない中で進められている。

▼出産人数ごとの祝い金と児童手当の増額や結婚祝い金、進学費用共済の創設と、Ｕターン者への支援をしてほしい。

▼平笠地区から新庁舎までの道路を早く整備してほしい。

２班

●11月20日●

柏台地区センター

■参加者　４人

▼プレミアム商品券はまたやってほしい。職員の対応は良かった。

▼小中学校適正配置計画の住民説明会はＰＴＡの総会などに出向いて開催するべき。

▼学童保育クラブの施設管理（草刈り）は誰がやっているのか。

◆市の回答（対応方針）
柏台学童保育クラブの管理運営は、指定管理者の八幡平市社会福祉協議会が行っています。

▼小中学生にもインフルエンザ予防接種を補助するべき。敬老会を開催する経費を回してもよいのではないか。

▼コミュニティバスの運行時間を学校の登下校に合わせてほしい。

▼高校の通学定期券補助額を増やしてほしい。

▼寺田小学校と平舘小学校の統合は、決まったことに従うしかないと感じている。

２班

●11月21日●

平舘コミュニティセンター

■参加者　12人

平舘コミュニティセンター
（11月21日）

▼まちづくりアンケート調査の中で、「あなたは、八幡平市が子育てしやすい市だと思いますか」に対して、「いいえ54・４％」の具体的な理由を捉えているか。

◆市の回答（対応方針）
アンケート調査の自由記述には、子育てに関する要望が寄せられました。

▼学校統合での名称と位置は保護者や議員で考えてもらいたい。

▼学校統合はやむを得ない。複式学級はダメだと思う。

３班

●11月20日●

八幡平市役所多目的ホール棟

■参加者　３人

▼市道兄川線の整備は具体的になるのか。

◆市の回答（対応方針）
市道路整備計画では、10カ年以内の着手としているが、安比地熱発電所の建設計画が具体化した段階であり方を検討します。

３班

●11月21日●

田山スポーツ交流館

■参加者　11人

田山スポーツ交流館
（11月21日）

▼安代地区は子どもを育てる環境は良いが、仕事がない。

▼良い大学に入る子はみんな盛岡の高校に行くのは残念。地元の高校に入れば地元で働くと思う。

議員と語る会に参加いただきありがとうございました

各会場の実施報告書や参加者のアンケート結果、要望・提言などに対する市の回答（対応方針）の全文など、議員と語る会について詳しくは、八幡平市議会のホームページに掲載しています。

12月定例会

●会期　12月８日～12月17日（10日間）

部制廃止の行政組織条例改正案を全会一致で可決

今回は
市長提出議案　31件
請願　３件

12月定例会最終日（12月17日）

【議案第３号】　盛岡市及び八幡平市における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について

盛岡広域８市町で一体的な発展図る

盛岡市と八幡平市が連携して盛岡広域圏における経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化と生活関連機能サービスの向上を図るために、連携協約を締結しようとするものです。

Q 連携協約の締結で人口が盛岡一極集中にならないか。

A 盛岡広域圏から人口を流出させないようにするもので、そのために、公共交通網の構築に取り組む。

１月15日に盛岡市で開催された
連携中枢都市圏連携協約締結式

【議案第４号】　第２次八幡平市総合計画基本構想の策定に関し議決を求めることについて

これから10年間の八幡平市の方向性

新たな市勢発展のため、まちづくりの理念や、将来像を実現する施策の大綱を示す第２次八幡平市総合計画基本構想を策定しようとするものです。計画期間は28年度から37年度までの10年間。市の将来像は「農（みのり）と輝（ひかり）の大地～ともに暮らし、しあわせ感じる八幡平市～」です。

Q 基本構想の中で教育振興基本計画の部分が含まれていないが。

A 具体的なものは基本計画の中で示して位置付けたい。

Q 同時に策定を進めている総合戦略との関係性は。

A 総合計画は市政全般にわたる政策や施策の基本的な方向を定めた計画であり、総合戦略は人口減少に歯止めをかけることを目的に策定するものである。

【議案第５号】　八幡平市行政組織条例

意思決定の迅速化図る行政組織改革

行政組織の見直しに伴い、所要の整備をしようとするものです。28年度の主な見直し内容は次のとおりで、16課１室８事務局体制となります。

▼意思決定の迅速化を図るため、企画総務、市民福祉、産業建設の３部を廃止する。
▼市長公室を企画財政課とし、秘書政策係、地域戦略係、広報広聴係、財政係を置く。
▼新たに防災安全課を置く。
▼農政課を農林課とする。
▼松尾総合支所を廃止するとともに、西根、安代総合支所の課を廃止して係だけを置く。

Q 組織を改正することでのメリットは。

A 第２次総合計画の着実な実施と、新たな施策に迅速に対応ができる組織を構築するというのが狙いである。窓口業務は変更なく対応できるような組織にした。

【議案第13号】　八幡平市老人デイサービスセンター条例を廃止する条例
【議案第14・15・16・17号】　財産の無償譲渡に関し議決を求めることについて

老人デイサービスセンター民間移管

西根デイサービスセンターと西根北部デイサービスセンターは社会福祉法人西根会（議案第14・15号）、松尾デイサービスセンターは同法人みちのく協会（議案第16号）、安代デイサービスセンターは同法人安代会（議案第17号）に４月１日から無償譲渡して移管することに伴い、八幡平市老人デイサービスセンター条例を廃止しようとする（議案第13号）ものです。

４つのデイサービスセンターを４月から
民間移管（西根デイサービスセンター）

【議案第18号】　八幡平市看護師養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例

看護師確保のため貸し付け要件緩和

市内に住所がなくても貸し付けを受けられるように要件を緩和しようとするものです。

Q 従来どおり市民だけのほうがよいのではないか。

A PRなどをしても貸し付けを受ける人が少ない。広く募集し、その後に定住していただければと思っている。

【議案第21号】　八幡平市安代林業センターに係る指定管理者の指定について

安代林業センター３年間の指定管理

安代林業センターを㈱だんぶり（鹿角市）に管理させようとするものです（期間＝４月１日～平成31年３月31日）

※平成28年１月15日に㈱だんぶりから指定管理申請書の撤回書が提出されました

【議案第22号】　平成27年度八幡平市一般会計補正予算（第５号）

６億4717万円増額した補正予算

歳入、歳出それぞれ６億4717万8千円を増額し、累計210億6106万2千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

▼八幡平市除雪要支援世帯助成金交付モデル事業助成金　150万円
▼第54回農林水産祭天皇杯受賞記念開催費補助金　100万円
▼都市計画道路大更駅前線整備事業　1765万9千円

Q 八幡平市除雪要支援世帯助成金の内容は。

A 地域による見守りに重点を置いた除雪支援事業で地域の課題を検証する。

Q 大更駅前線沿道整備土地区画整理事業水路整備工事はどうして必要になったのか。

A 区画整理事業の本格化の前に、混雑が予想される水路整備を先にするものである。

【請願第5号】 市営上坊牧野の南側付近における豚舎建設計画の中止を求める請願

豚舎建設を中止の請願は「趣旨採択」

㈲コマクサファームが市営上坊牧野南側付近に計画している豚舎の建設の中止と、建設の申請を許可しないよう求める内容です（請願者＝岩手山の自然・環境を守る会会長・伊藤千一、紹介議員＝髙橋守）。

■教育民生常任委員会が審査

▼委員会の審査結果 趣旨採択すべきもの（豚舎建設での事業者の手順などの瑕疵は認められないが、企業として住民に寄り添い丁寧に事業を進めることが望ましい）

【賛成討論】 米田定男議員

将来の世代にわたり、貴重な自然や環境を保全したいという声は当然であり、事業実施に当たっては、事前に地域との合意を前提にすべきものであることから原案に賛成する。

▼本会議議決結果 趣旨採択

【請願第6号】 田山グラウンドとその周辺にパークゴルフ場整備を求める請願

パークゴルフ場を整備の請願不採択

田山グラウンドとその周辺に18ホールのパークゴルフ場整備の実施を求める内容です（請願者＝田山地域振興協議会会長・工藤和吉ほか3団体、紹介議員＝山本榮、関善次郎、大森力男、北口和男、立花安文）。

■総務常任委員会が審査

▼委員会の審査結果 不採択とすべきもの（田山地区にパークゴルフ場を整備するのは望ましいが、田山グラウンドは地区住民などの各種スポーツ活動に使われており、パークゴルフ場を整備する場所には適さない）

【賛成討論】 米田定男議員

田山地区へのパークゴルフ場の整備という立場で、現時点では田山グラウンドへも選択肢の一つとして維持すべきであることから原案に賛成する。

▼本会議議決結果 不採択

平成27年第４回定例会　賛否の分かれた議案などの採決結果

議案番号・件名		1 工藤 隆一	2 田村 善男	3 畠山 康	4 井上 辰男	5 立花 安文	6 大森 力男	7 渡辺 義光	8 工藤 剛	9 遠藤 公雄	10 古川 津好	11 小野寺昭一	12 田村 孝	13 山本 榮	14 髙橋 守	15 髙橋 悦郎	16 関 善次郎	17 大和田順一	18 髙橋 光幸	19 米田 定男	20 北口 和男	21 伊藤 一彦	議決結果
請願第５号	市営上坊牧野の南側付近における豚舎建設計画の中止を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●	趣旨採択
請願第６号	田山グラウンドとその周辺にパークゴルフ場整備を求める請願	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●	●	不採択

※賛成＝○、反対＝●　工藤直道議長は採決に加わりません。
請願第５号は委員会の審査結果（趣旨採択）に対する採決、
請願第６号は原案に対する採決の結果となります。

一般質問

10人が市政を問う

渡辺義光 議員（新政クラブ）…07
小学校からの英語教育の充実について
フットパスと元気なまちづくりについて
新庁舎と西根総合支所の利用状況について

山本　榮 議員（日本共産党）…08
土木林業課廃止の撤回について
冬期間の高齢者福祉について

井上辰男 議員（八起会）……08
八幡平の観光について
地域おこし協力隊について
災害時における福祉避難所の協定について

髙橋　守 議員（八起会）……09
外国人研修生の受け入れについて
小中学校適正配置計画案説明会の内容について
ＣＣＲＣへの取り組みについて

工藤　剛 議員（新政クラブ）…10
旧東大更小学校の跡地利用について
空き家対策について
市内の防犯対策について

遠藤公雄 議員（自由クラブ）…10
畜産（大型畜種）振興について

北口和男 議員（無会派）……11
行政組織機構改革について
市本庁舎設備について
温泉施設入浴料について

古川津好 議員（緑松会）……12
条例の整備について
商工会事業の支援について

米田定男 議員（日本共産党）…12
市総合計画基本構想（案）について

髙橋悦郎 議員（日本共産党）…13
八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略および市人口ビジョンについて

わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
（新政クラブ）

小学校からの英語教育

学習活動に力を入れる

渡辺議員　寺田小学校で外国語指導助手（ＡＬＴ）による英語と郷土の民話を連動させた学習が新聞で紹介された。英語は平成32年から小学3年生の正式教科実施が進められているが、どのように市民の英語教育の充実を図る考えか。

市長　増加傾向の市内に宿泊する外国人観光客のニーズに応えていくため、今後は観光施設と市民が一体となった外国語を取り入れたおもてなしが必要である。

教育長　寺田小学校での活動は、今後の小学校英語教科化への先行実践となる。

「フットパス」の実施

渡辺議員　地域の歴史や風景を楽しみながら歩くフットパスは、まちの活性化や文化・観光振興に有効である。市内12の花輪線の駅の特長を活かしたコースを設定してはどうか。

市長　フットパスはまちおこしに有効な手段と考える。観光プラットホームの活動として検討していきたい。

西根総合支所の利用

渡辺議員　西根総合支所の空きスペースを各種団体に開放する考えは。

市長　一部を八幡平市芸術文化協会などが一時的に使用しているが、現在は新岩手農協本所事務所としての利用を協議しているところである。

副市長　西根地区市民センターを貸すことについて検討している。

ＡＬＴによる英語授業
（寺田小学校）

山本（やまもと） 榮（さかえ） 議員
（日本共産党）

土木林業課の廃止を撤回
全域の均衡ある振興図る

山本議員　安代総合支所の課の廃止は、合併協議会で総合支所方式を選択したことに反するのではないか。

市長　総合支所の課を廃止しても、主な業務を担当する係を置くことで総合支所としての役割に変更がないと考えている。

山本議員　市内林業業者の大半を占める安代地区は、林業が重要な産業である。地区住民のサービス低下となり、地域振興や産業振興に影響を与える土木林業課廃止は撤回すべきである。

市長　安代地区の地域的条件を踏まえ、安代総合支所に一定数の職員配置が必要と考えている。市内全域の均衡ある振興を図りつつ、人材の適正配置に努める。

高齢者世帯が増加 除雪の支援が必要

山本議員　冬期間に除雪ができないため、孤立している高齢者が出ている。高齢者福祉の立場での除雪支援が必要ではないか。

市長　高齢者世帯が増加する中で、孤立世帯を作らないことは早急に取り組むべき課題である。本年度は安代地区を対象に、地域による見守りに重点を置いた除雪支援のモデル事業を実施する。

山本議員　冬期間共同で暮らせる高齢者住宅の設置は。

市長　地域条件に合う事業を展開し、高齢者が安心して生活していくことができる環境づくりを進めていかなければならないと考える。

28年度からは廃止となる
安代総合支所土木林業課

井上（いのうえ） 辰男（たつお） 議員
（八起会）

充実した八幡平の観光
ガイドの育成に努める

井上議員　観光客に八幡平の歴史と自然を満喫し、充実した観光を楽しんでもらうための姿勢や考え方は。

市長　観光資源を観光客に伝えるためのガイド育成に努める。

井上議員　公衆トイレが汚れていたり、鍵が壊れていたりしている。どのように対応していくか。

産業建設部長　清掃頻度の見直しや、破損箇所は即座に対応する。

地域おこし協力隊

井上議員　地域おこし協力隊の隊員数と活動内容は。

市長　6人の隊員が地域活動と交流支援や観光振興の支援、農林業の支援で活動を展開している。

井上議員　隊員が活動する上で相談できる環境づくりが大事ではないか。

地域振興課長　日常的な相談や隊員同士の人間関係にも気を配りながらフォローしていく。

井上議員　隊員は3年後の保証はない。定住してなりわいの道筋を立てるため、どのようなサポートをしていくか。

地域振興課長　定住に向けては、起業するのに必要な研修や資格の取得などを支援していきたい。

福祉避難所の協定

井上議員　災害時の福祉避難所開設の現状は。

市長　受け入れ可能な人数は13施設で267人となっている。

12月12日に開催されたネイチャーガイド育成セミナー

髙橋（たかはし） 守（まもる） 議員
（八起会）

統合は地域との合意？
同意を得た上で進める

髙橋議員　第2期八幡平市小中学校適正配置計画（案）の適正化基準は目標値であり、地域の皆さんと確認をしながら、同意を持った上で実施するという認識で良いか。

教育長　統合については、地域の同意を得て進める。

外国人研修生は労働力不足対策

髙橋議員　外国人研修生の受け入れについての考え方と今後の対応は。

市長　労働力不足は大きな課題だと認識している。国に対してどのように実態を訴え、新たな制度設計を要望していくかにかかっており、市としてできるものは何かを模索したい。

CCRC構想は地方創生の光明

髙橋議員　※CCRCの取り組みは、早い時期に方針を公にし、計画実現に向けて今後必要になる出資者や企業などへのアピールを考えるべきではないか。

市長　計画実現には民間企業などの協力が不可欠であり、できるだけ早い時期に八幡平市の取り組みの方針を明らかにし、広くアピールができるように進めていきたい。

心配をよそに元気な子どもたち

※CCRC＝継続的なケア付きリタイアメントコミュニティー。大都市の高齢者が健康なうちに地方に移り住み、介護や医療が必要になる終末期まで継続的なケアや生活支援サービスを受けて暮らせる共同体

工藤（くどう） 剛（つよし） 議員

（新政クラブ）

旧東大更小学校の利活用

地元の協議会と情報交換

工藤議員　旧東大更小学校の今後の利活用の計画は。

市長　東大更小学校跡地活用協議会と情報交換を行いながら、策定を進めている「市公共施設等総合管理計画」の中で方針を示したい。

工藤議員　体育館の貸し出し管理だけでも大更コミュニティセンターが窓口で行うことができないか。

市長　早急に検討する。

工藤議員　体育館の暖房設備や冬期間のトイレが使用できないが、修理の予定はないのか。

副市長　暖房は現時点ではブルーヒーターなどでの対応となる。トイレは使えるように早急に対応したい。

避難所でもあり、ワックスがけもして管理していく。

工藤議員　校舎も現在は学童保育クラブ以外は利用できないが、地域住民が歩いて集まれる場として活用させてほしい。

安全にくらすため

工藤議員　事件が起きたときに早く情報を集めることが解決の近道であることから、ＰＴＡや消防団で利用している防犯や防災のメールを希望する市民に配信してはどうか。

総務課長　来年の防災関係のデジタル化にあわせてシステム構築を検討する。

工藤議員　市内業者からの寄贈でフーガの広場に防犯カメラが４台設置されたが、もっと増やしてもらいたい。

市民福祉部長　効果を検証しながら今後検討していく。

今後の利活用が注目される
（旧東大更小学校体育館）

遠藤公雄（えんどうきみお） 議員

（自由クラブ）

放牧地の現状と改善策

草地更新など計画的に

遠藤議員　公共放牧地の今後の取り組みや方向性は。

市長　公共牧野の利用率向上が飼養頭数の増頭に大きく関わることから、計画的に草地更新などの整備が必要と考える。

農政課長　採草地であるが、デントコーンを使いたいという要望があれば検討して有効利用を図りたい。

遠藤議員　草地更新などの管理に第三セクターを設立して進めてはどうか。

市長　八幡平市の畜産行政の中で、中長期的な視点に立った公共牧野のあり方を検討したい。

遠藤議員　飼料用米の作付面積は増えているが、良質な粗飼料確保のための稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）の作付けは。

市長　本年度は22ヘクタールの作付けが行われており、10アール当たり8万円の交付金が支給されることになっている。

農政課長　処理する機械が１セット１３００万円と高額であり、導入後の事業計画を考え慎重に進めたい。

遠藤議員　農家の省力化やコスト低減につながる周年預託施設が望まれる。

市長　事業を凍結していたが、和牛を取り巻く環境は変化している。関係団体と一丸になって取り組まなければならない事業である。

遠藤議員　農家の労力軽減や飼養頭数の維持拡大には施設導入が必要ではないか。

農政課長　設置検討委員会を立ち上げ再度検討を進めていきたい。

畜産振興に公共牧野の役割は重要
（長久保牧野での黒毛和種の放牧）

北口和男（きたぐちかずお） 議員

（無会派）

災害を最小限に課が必要

本庁舎を拠点とした市政

北口議員　安代総合支所の課を廃止する行政組織機構改革案が示されたが、住民の多くは現状維持を望んでいる。３年から５年サイクルで豪雨災害が発生しているほか、林業関係の現場の大部分は安代地区である。災害防止と産業振興が重要であり、住民サービスを考え、土木林業課が必要ではないか。

市長　本庁舎を拠点とした効率的な組織への再編を進めていくものであり、本庁舎には産業振興など調査、企画機能を集約し、安代総合支所が維持管理機能を引き続き担当することにより、役割を明確にしようとするものである。安代地区は地理的条件や災害対応もあることから一定数の職員配置が必要と考えている。今後も市内全域の均衡ある振興を図りつつ、人材の適正配置に努める。

北口議員　県内13番目の市である八幡平市が今後さらに発展し、盛岡以北の拠点を目指すため、部制を残して市職員の育成や指導、市民の福祉向上に努めるべきではないか。

市長　新庁舎が完成し、一体となって執務を行える環境が整った。市民サービスの低下を招くことなく、限られた人材を最大限に活用して、新たな行政課題などに敏速に、横断的な課題に的確に対応できる組織の構築を目指すために、責任や権限の明確化と意思決定の迅速化を図るものである。

一定のサイクルで発生する
安代地区の災害防止が重要

古川津好（ふるかわつよし）議員
（緑松会）

景観条例を見直し強化
規制できる条例を検討

古川議員　八幡平温泉郷のプータロ村跡地に太陽光発電施設の建設が進められている。太陽光パネルが敷き詰められると、あの一帯の景観が大きく損なわれる。今後も類似の施設が建設されると、温泉郷は観光地として大きなダメージを受ける。早急に景観条例を改正して、何らかの規制をすべきではないか。

市長　太陽光発電はあの場所にはなじまないという思いから、規制できないか検討したが無理だった。議会とも協力して、規制できる条例の制定を検討したい。

古川議員　豚舎建設計画の中止を求める請願が出されているが、環境基本条例に照らし合わせた場合、悪臭を発生させる恐れがあり、条例が定める事業者の義務に抵触するのではないかと思われる。どのような指導をしたか。

市民福祉部長　悪臭防止法との関係から、地域住民とのトラブルが発生しないように、協定を結ぶよう意見を付して申請者に回答した。

商工会事業への支援

古川議員　八幡平市商工会が取り組んでいる全国展開支援事業の松尾鉱山観光資源化プロジェクトに対して、市はどのような支援をしていくか。

市長　来年度以降も事業経費の一部負担を継続するほか、観光関連業者と旅行者、旅行関連業者をつなぐ組織の立ち上げを推進したい。

八幡平の大自然の景観が危ない！
（写真＝北杜市太陽光発電を考える市民ネットワーク提供＝）

米田定男（まいたさだお）議員
（日本共産党）

基本構想策定経過に問題
内容を吟味した上で提案

米田議員　八幡平市総合計画市基本構想は、今後10年間の市政の基本的な方針を定める極めて重要な存在である。11月の議員全員協議会で説明された当初案の序論はずさんな内容だった。なぜ、このようになったか厳しい検証が必要である。

市長　序論については、現在の基本構想を基礎に検討する中で、人口減少やそれに伴う地域経済の課題などを踏まえた現状を勘案して原案とし、パブリックコメントや議員全員協議会での意見をもとに再調整を行い、内容を吟味した上で本議会に提案したものであることはご理解いただきたい。

米田議員　序論の文章のうち、約3分の1が第1次総合計画基本構想と同一の文章となっている。10年前の八幡平市と現在の八幡平市で変わらない部分もあることから、同じ表現になったものである。

米田議員　10年前と同じ状況があるとすれば、10年前の方針が正確でなかったのか、正確であったが施策が不十分だったのか、市政以外に原因があったのかなどの原因を分析して、今回の策定の方針に反映するのが当然である。そもそも不正確といわざるを得ない10年前の文章が、今回も使用されている部分がある。総合計画基本基本構想の策定を担当したのは市の中枢部であり、事態に正面から向き合うべきである。

第１回総合計画審議議会
（平成26年10月21日）

髙橋悦郎（たかはしえつろう）議員
（日本共産党）

思い切った人口減対策
可能なものから予算化

髙橋議員　八幡平市の人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略は、市の最大の課題である人口減少にどうやって歯止めをかけるかの計画である。計画で目指す人口の将来展望は。

市長　2040年には国立社会保障・人口問題研究所が推計した人口より2335人多い1万8800人を目標人口とした。

髙橋議員　期待していたよりも低い目標と感じるが。

市長　具体的には、40年には合計特殊出生率を2・07、全体の転入転出が同じになる推計をした。

髙橋議員　目標人口を実現するためには、子育て世代への思い切った支援の施策展開が求められるが、どのように取り組むか。

市長　4月から子どもの医療費助成を中学校卒業まで拡大する。保育所の待機児童解消は、保育士資格者の活用と家庭的保育の取り組みで早期に解決したい。さらにこれまで以上に、妊娠から出産までの総合的支援の拡充に取り組みたい。また、結婚するきっかけづくりや出産への環境づくりのプロジェクトにも力を入れていく。

髙橋議員　転出を減らす方策として、盛岡圏への通勤が便利な大更の狐塚市有地を安価で若い世帯に供給する宅地整備の考えは。

市長　当然そのことを視野に入れて、狐塚の市有林の伐採をした。今検討しているところである。

狐塚市有地の活用を

総務常任委員会

■期日・場所　11月４、５日・秋田県由利本荘市、五城目町
■内容　地域おこし協力隊事業に関する事例調査

地域を変える地域おこし協力隊の活動

　由利本荘市は、26年度からフットパスを（地域の風景を楽しみながら歩くこと）を活用して地域活性化するために地域おこし協力隊員１人を採用しています。
　五城目町では、「地域資源を活用した６次産業化推進」「起業支援」「空き家などを活用した首都圏からの移住促進」の３つを目標に掲げて隊員を４人委嘱。隊員は、各種講演活動やまちづくり事業に協力などで活躍しています。

秋田県五城目町（11月５日）

教育民生常任委員会

■期日・場所　10月28、29日・神奈川県大和市、東京都足立区
■内容　小学生の学力向上支援事業などに関する事例調査

東京未来大学こどもみらい園（10月29日）

空き教室を利用して小学生の学力向上

　大和市は、小学校の空き教室を利用して児童の宿題や予習復習のサポートを実施する「放課後寺子屋やまと」で、基礎学力の向上と学習習慣の定着を目指しています。
　足立区にある東京未来大学こどもみらい園では、発達障害などの悩みがある子どもに対して、長所を伸ばし、個性と自信を育む取り組みをしているほか、子どもの成長に悩む保護者への支援も行っています。

議会運営委員会

■期日・場所　10月15、16日・茨城県取手市、守谷市
■内容　議会運営に関する先進事例調査

次年度予算編成に反映させる決算審査

　守谷市議会は、決算審査の結果や指摘事項を翌年度予算編成に反映させるため、平成25年から当局が執行した事業の事業評価を取り入れました。統合された決算予算特別委員会では、分科会で選定した事業をシートを用いた評価で決算審査を行い、その後評価した事業が予算にどのように反映されているかを予算審査時に検証して、決算と予算の審査を結び付けています。

茨城県守谷市（10月15日）

八幡平市議会活動レポート

議会改革研修会

議会改革の必要性を全議員で認識

　昨年11月２日に議会改革研修会を開催しました。福島県会津若松市の目黒章三郎議長から「議会改革運動論」と題して講演いただいた後、青森中央学院大学の佐藤淳准教授の指導の下、議員はグループに分かれて講演の感想を振り返って共有し合いました。

目黒章三郎議長（写真左）は会津若松市議会の議会改革の取り組みを紹介しました

次は ３月定例会（予定）

期　日	内　容
２月25日㈭	市長施政方針演述 ほか
２月26日㈮～３月８日㈫	休会
３月９日㈬・10日㈭	会派代表質問、一般質問
３月11日㈮～13日㈰	休会
３月14日㈪・15日㈫	一般質問
３月16日㈬	議案審議、予算特別委員会
３月17日㈭・18日㈮	予算特別委員会
３月19日㈯～21日㈪	休会
３月22日㈫・23日㈬	予算特別委員会
３月24日㈭	休会
３月25日㈮	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

　八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所３階の議会事務局までお越しください（受付で住所や氏名を記入する必要はありません）。

議会の映像を見ることができます

　八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎１階のテレビでライブ中継を行っているほか、会派代表質問と一般質問の模様はインターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

クイズ

問　〇の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

第２次八幡平市総合計画基本構想は28年度から〇年度までの10年間

■応募方法　答え、住所、氏名（ふりがな）、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。
※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
■あて先　〒028-7397　八幡平市議会事務局　議会だより　係
FAX：0195-74-2105　E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
■しめ切り　平成28年３月７日㈪（当日消印有効）
■前回（No.41）の正解　山（の日）
応募者　27人　　正解者　27人

〒028-7397 岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
☎0195-74-2111(代表)、0195-74-2429(直通) FAX：0195-74-2105
■発行 八幡平市議会 ■編集 八幡平市議会議会広報常任委員会

議会のまど

子育て世代に対する大胆な支援策が必要

山口智生（やまぐちともたか） さん
（上平笠）

お年寄りの福祉は日本全体の問題として取り組んでいますが、子育て世代に対する支援はまだまだ足りない気がします。お年寄りを支える上でも、次代を担う子育て世代を増やすための大胆な支援策がこれから八幡平市が自治体として生き残るには必要だと思います。

議員の皆さんには、若い世代が集まるような場への案内が来たときには積極的に顔を出してもらいたいです。また、議会としても若い人の意見を聞くような交流の機会を設けて、市政に反映させてほしいですね。

声

クイズで寄せられた意見などを紹介します。

八 幡平市では、雪が降ったときの樹木の倒木が問題だと思います。道路沿いだけでなく、住宅に隣接した危険な樹木は伐採したり、所有者に伐採を促す指導をお願いします。（松尾寄木・40歳男性）

小 規模校にはメリットもデメリットもあります。学校統合では、子どもたちのために最も良い選択ができるかが大切だと思います。（柏台・39歳女性）

山 の日という祝日が増えるのを「ギカイのひろば」を読んで初めて知りました。（平舘・51歳女性）

希 望郷いわて国体冬季大会スキー競技会では永井健弘選手の活躍がとても楽しみです。（叺田・73歳女性）

国 道282号竜ヶ森地区スノーシェルター内の道路を整備してもらいたいです。（川原・57歳女性）

八 幡平市は資源に恵まれているのに活用されていません。広くアイデアを求めて道を開いてはどうでしょうか。（松尾寄木・67歳女性）

市 民との触れ合いなども掲載すれば、「ギカイのひろば」が身近に感じると思います。（松尾・47歳女性）

平成27年第4回定例会 傍聴者数

61人

今回の表紙

安代中学校3年
滝沢日菜 選手
たきさわ・ひな

昨年度の全国中学校スキー大会（全中）・クロスカントリー女子クラシカルで7位に入賞した滝沢選手。1月10日から13日までに行われた県中学校大会では2年連続でクラシカルとフリーの2冠を達成した。「地域の人たちからも声援をもらっている。今シーズンは全中で2種目とも入賞して、地元国体に出場したい」と意欲を燃やした。
（取材日：1月12日）

※はちまんたい議会だより「ギカイのひろば」No.42（平成28年2月4日発行）の印刷経費は1部40.64円（税抜）、発行部数は9,750部です。